

# 第46回衆議院議員総選挙投票結果

投票率 小選挙区 71.30%  
比例代表 71.30%

12月16日、第46回衆議院議員総選挙と第22回最高裁判所裁判官国民審査が町内5投票所で一斉に行われました。今回の投票率は、小選挙区と比例代表共に71.30%（前回79.57%）、国民審査70.41%（前回78.19%）と、それぞれ前回を下回る投票率となりました。また、同日午後9時から保健福祉センターで行われた開票事務は、午後10時22分に衆議院選挙、午後11時に国民審査が終了し、町内における得票結果が明らかになりました。なお、町内各投票区の投票状況と得票率は各表のとおりです。

審査に付される裁判官の氏名	罷免を可とする投票数	罷免を可としない投票数
山 浦 善 樹	157	1,409
岡 部 喜 代 子	157	1,409
須 藤 正 彦	158	1,408
横 田 尤 孝	168	1,398
大 橋 政 春	147	1,419
千 葉 勝 美	155	1,411
寺 田 逸 郎	168	1,398
白 木 勇	165	1,401
大 谷 剛 彦	147	1,419
小 貫 芳 信	145	1,421
合 計	1,567	14,093



候補者氏名	党 派	町内得票数	6区得票数
当選 今津 ひろし	自民党	677	103,064
安住 たかのぶ	みんな	218	48,736
おぎう 和敏	共産党	61	18,915
ささき 隆博	民主	605	69,272
合 計		1,561	239,987

政党の名称	町内得票数	北海道選挙区得票数	当選者数
社会民主党	48	48,351	
民 主 党	455	477,356	2
自由民主党	363	692,304	3
日本共産党	36	182,968	
日本維新の会	130	333,760	1
公 明 党	166	289,011	1
みんなの党	98	155,522	
幸福実現党	16	10,506	
新党大地	193	346,848	1
日本未来の党	49	81,838	
合 計	1,554	2,618,464	8

投票区分	当日の有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
第1投票区(北落合)	小選挙区	47	50	97	38	38	76	80.85	76.00	78.35
	比例代表	47	50	97	38	38	76	80.85	76.00	78.35
	国民審査	47	50	97	38	38	76	80.85	76.00	78.35
第2投票区(落合)	小選挙区	86	80	166	53	50	103	61.63	62.50	62.05
	比例代表	86	80	166	53	50	103	61.63	62.50	62.05
	国民審査	86	80	166	53	50	103	61.63	62.50	62.05
第3投票区(幾寅・東鹿越)	小選挙区	767	786	1,553	581	557	1,138	75.75	70.87	73.28
	比例代表	767	786	1,553	581	557	1,138	75.75	70.87	73.28
	国民審査	767	785	1,552	572	547	1,119	74.58	69.68	72.10
第4投票区(金山)	小選挙区	117	153	270	78	89	167	66.67	58.17	61.85
	比例代表	117	153	270	78	89	167	66.67	58.17	61.85
	国民審査	117	153	270	78	89	167	66.67	58.17	61.85
第5投票区(下金山)	小選挙区	87	99	186	65	71	136	74.71	71.72	73.12
	比例代表	87	99	186	65	71	136	74.71	71.72	73.12
	国民審査	87	99	186	64	70	134	73.56	71.71	72.04
計	小選挙区	1,104	1,168	2,272	815	805	1,620	73.82	68.92	71.30
	比例代表	1,104	1,168	2,272	815	805	1,620	73.82	68.92	71.30
	国民審査	1,104	1,167	2,271	805	794	1,599	72.92	68.04	70.41

## 平成24年度移動町長室を開催

## 小さな町だからできる協働のまちづくりの推進

自治会推進条例に基づく「移動町長室」が11月26日の北落合地区を皮切りに12月3日の幾寅地区まで町内5地区の会場で開催され、88名の町民の皆さんが出席されました。この移動町長室は、行政の執行状況などの報告やまちづくりに対する住民の方々の意見や提言を直接把握する機会として各地区の町内会や自治会の協力のもとで行うものです。各会場では、最初に池部町長から、本年度の本町の主要な行政の執行状況として、本年度策定中の本町におけるまちづくりの最上位計画となる第5次総合計画の策定作業の進捗状況などを説明の後、福祉関係全般、町内商工業の振興・町民の生活支援を目的に、町が支援する町商工会の「プレミアム商品券」事業や町が行うエゾシカ肉加工品等の消費拡大事業、農業基盤整備の国営や道営事業における鹿柵設置や土地改良事業の状況などの産業全般、生活環境の向上、安心・安全なまちづくりの推進などを説明しました。

また、教育委員会が本年度から行っている小・中・高連携教育の推進状況や生徒確保に努めている南富良野高等学校の各種振興策、幾寅小学校の改修計画など、現在町が取り組んでいる主な事業について説明を行い、ご理解とご協力をお願いしました。この後、懇談に入り、出席された皆さんからは、町内の公共施設や町道の整備・補修、町内の道路の除雪や循環バス運行のあり方など、生活環境に密接な課題や要望があり、町の考え方や対応策などを説明しました。これらの要望などについては、その緊急度や効果などを勘案し、財源の許す限り予算化に向けて努力してまいりますので、町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。なお、移動町長室において出されたご意見やご要望については、次号（2月号）において掲載します。



11月26日 下金山地区

## 地域の木質エネルギーを考える

11月29日に、町主催による木質バイオマス事業勉強会が、役場大会議室で町内の林業関係者のほか、占冠村や日高町から約60名が参加し開催されました。勉強会は、道立総合研究機構森林本部林業試験場の酒井明香氏を講師に、「林地残材を地域で活用する」と題し、伐採後に残る林地残材の現状と活用状況などを説明し、木質バイオマスの活用の可能性を説明しました。また、町森林組合北畠啄郎氏による「町における木質バイオマス事業の展開と展望」と題し、今の生産の仕組みや活用状況、灯油と対比した場合のメリットなどが説明され、講演終了後は、南富良野中学校に導入されている木質バイオマス（ピンチップ）を燃料とするボイラーなどを視察しました。



## 第5次総合計画を策定し答申

12月10日に、南富良野町第5次総合計画審議会（曾慶一介会長）から池部町長へ町第5次総合計画の答申書が手渡されました。総合計画は、本町のまちづくりにおける最上位計画に位置するもので、これまでの第4次総合計画が本年度で終了となることから、本年2月に計画策定にあたり審議会へ諮問し、約10か月間に渡り慎重に審議を重ねてきました。答申に当たり、曾慶会長より「すべての住民が笑顔にあふれ、夢と希望を抱ける魅力あるまちの実現に向けて、住民と行政が一体となってまちづくりに取り組むことを期待します」と述べられました。今後、この答申書に基づき、第5次総合計画は、町議会で審議されます。

